

平成 30 年度気仙沼市防災研修会で講演しました(2018/07/11)

テーマ：大雨災害，災害情報，災害福祉
場所：気仙沼市 市民福祉センターやすらぎ（宮城県気仙沼市）

7月11日（水），「平成30年度気仙沼市防災研修会」が気仙沼市・市民福祉センターやすらぎ（宮城県気仙沼市）にて開催されました（主催：気仙沼市，気仙沼・南三陸介護サービス法人連絡協議会）。同講演会は，協議会参加圏内における福祉施設関係者が参加するもので，災害福祉対応能力の向上を目指す目的にされています。講演と福祉施設関係者からの2017年台風21号時における避難対応の事例報告（2件）からなる2部構成でした。

当研究所の佐藤翔輔准教授（情報管理・社会連携部門）は，「最近の自然災害の特徴と対策」というタイトルで，昨今の大雨災害のハザードの側面，人的被害の特徴の側面を整理して紹介するとともに，7月5日以降発生している平成30年7月豪雨（西日本豪雨）の人的被害の特徴や，災害時の情報収集に関する具体的なテクニックを紹介しました。参加者からは「事業所内での防災マニュアルは作成しているものの，ネットの情報を常に意識はしていなかったため勉強になりました。」「資料も見やすく，分かりやすい講演だったと思います。」「とてもわかりやすく，タイムリーな内容でした。」などのご感想をいただきました。会場には気仙沼・南三陸の福祉施設関係者の約60名が参加し，盛会となりました。



研究会の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）
写真撮影：熊谷成一（気仙沼分室）